

# 広瀬市長 2期目スタート

就任のびあつわり

下野市長 広瀬 寿雄



この度の市長選挙におきまして、多くの市民の皆様方からご支援をいただき、引き続き2期目の下野市政を担当させて頂きたくことになりました。

市民の皆様からお寄せいただきました大きな期待を思うと、その責任の重さに、改めて身の引き締まる思いでございます。

今般の選挙を通じ、多くの市民の皆様から市政に対する様々なご意見やご要望をいただき、改めて旧3町ごとの地域性や住民の思いに違いがあることを実感いたしました。

今後4年間、お寄せいただきました信頼と期待にお応えするため、市民の皆様とお約束した施策を着実に実施し、今までも増して誠心誠意、下野市発展のために精一杯の努力を重ねてまいる所存でございます。

さて、私の前任期中の4年間は、繰上償還の実施等による財政の健全化をはじめ、行財政改革に取り組む一方で、厳しい財政下におきましても、将来の下野市に必要と思われる「中学3年生までの子ども医療費の無料化」や「小学校6年生を対象とした子宮頸がんワクチンの無料接種」、「市内全小・中学校の耐震化・補強工事の実施」など、未来を担う子供たちが大切に育まれる施策を実施してまいりました。

また、「がん検診費用の無料化」や「市内全域に光ファイバー網を敷設することによる地域間情報格差の解消」など、市民の皆様が安心して安全に暮らせるための施策にも力を入れ、更には、市の一体感の醸成に全力で取り組み、新市の基礎づくりをしてまいりました。

2期目となります。これからの4年間は、第1期4年間の成果と課題を踏まえながら、今般の選挙におきましてマニフェストに掲げました「人・街・暮らしいきいき!!下野」の実現に向けて、主要政策を基本として、10年後の将来、20年後の未来に向かって、心の「絆」を育む「新生文化都市しもつけ」の全体像づくりをしてまいります。

具体的には、引き続き、限られた財源の中で最大の効果を生み出すための創意工夫、経費の節減や業務の見直しにより、更なる行財政改革に取り組んでまいります。

また、市民参画により「協働のまちづくり」を積極的に推進するとともに、市民の皆様の小さな声にもしっかりと耳を傾けてまいります。



そして、分散庁舎の解消のための新庁舎の建設や市内公共交通の充実など、下野市のおかれている現状を踏まえ、山積している諸課題にも柔軟に対応しながら、総合的な政策を進めてまいりたいと考えております。

下野市を取り巻く社会経済情勢は大変厳しく、決して容易に進められるものではありませんが、職員ともども知恵を出し合い、先頭に立って汗をかき、市民の皆様が「住んでよかった」・「住んでいることを誇りに思える」と言えるまちづくりに全力を傾注してまいる所存でございます。

**平成22年7月11日執行 下野市長選挙投開票結果**

当日有権者数	投票者数	投票率
46,896	31,683	67.56%
各候補の得票数 (敬称略)		
当選	候補者氏名	得票数
	広瀬 寿雄	16,688
	大垣 隆	14,493
	無効票	502
	計	31,683